

科目名		産業保健疫学特論	
科目責任者	櫛田 尚樹	(産業・地域看護学 教授)	
担当者	原 邦夫	(安全衛生マネジメント学 教授)	
担当者	中谷 淳子	(産業・地域看護学 教授)	
開講時期:	1年次後期	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業保健(職域)において実施する疫学研究の理論と方法についての基本を理解することを目的とする。産業保健疫学研究を実施・実践する際や利用する際に考慮すべき点を理解し、その具体的な方法と技術について学ぶ。また理論だけでは解決できない現実に対して科学性を保ちながらどのように対処するかという実践的な視点からの産業保健疫学の知識や技術の獲得も学ぶ。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 産業保健疫学の理念、日本と世界における歴史、現状と課題を説明できる。 2) 産業保健における基本的な研究方法である疫学の特徴を説明できる。 3) 産業保健における基本的な調査研究の進め方、論文の批判的吟味ができる。 4) 産業保健疫学における記述疫学と分析疫学を解説できる。 5) 産業保健疫学における介入研究を解説できる。 6) 職域における循環器疾患・糖尿病等の予防と疫学的アプローチを説明できる。 7) 職域における事故・怪我の予防と疫学的アプローチを説明できる。 8) 職業性モデルの理論背景を解説できる。 9) 職場ストレスの諸問題について解説できる。 10) 職場ストレスの対策の方法論や問題点について説明できる。 11) 長時間労働が健康や安全に及ぼす影響について解説できる。 12) ワーク・ライフバランスが健康に及ぼす影響について解説できる。 13) 世界における職場組織の諸問題について解説できる。 14) 先進国における産業保健疫学の現状と課題について説明できる。 15) 後進国における産業保健疫学の現状と課題について説明できる。 			
● 評価方法	討論30%・発表30%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じて紹介する。		

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1・2	産業保健疫学序論	オリエンテーション、序論	樺田、原中谷
3・4	産業保健疫学の基礎 I	職域における疫学総論	樺田、原中谷
5・6	産業保健疫学の基礎 II	職域における疫学研究の意義と活動	樺田、原中谷
7・8	産業保健疫学の基礎 III	職域における記述疫学と分析疫学	樺田、原中谷
9・10	産業保健疫学の基礎 IV	職域における介入研究	樺田、原中谷
11・12	産業保健疫学の応用 I	職域における循環器疾患・糖尿病等の予防と疫学	樺田、原中谷
13・14	産業保健疫学の応用 II	職域における事故・怪我の予防と疫学	樺田、原中谷
15・16	産業保健疫学の応用 III	職業性ストレスの理論モデル	樺田、原中谷
17・18	産業保健疫学の各論 I	職場におけるストレスの諸問題と実証研究	樺田、原中谷
19・20	産業保健疫学の各論 II	職業性ストレス対策の方法論	樺田、原中谷
21・22	産業保健疫学の各論 III	長時間労働の諸問題と健康・安全	樺田、原中谷
23・24	産業保健疫学の各論 IV	ワーク・ライフバランスと健康	樺田、原中谷
25・26	産業保健疫学の各論 V	先進国における産業保健疫学の現状と課題	樺田、原中谷
27・28	産業保健疫学の各論 VI	後進国における産業保健疫学の現状と課題	樺田、原中谷
29・30	課題発表	産業保健疫学に関する内容の学習成果を発表する	樺田、原中谷